

平成24年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	板東俘虜収容所整備活用事業		担当部署	教育委員会 生涯学習人権課		
総合計画体系			根拠法令 計画など	文化財保護法・鳴門市ドイツ村公園実施基本計画		
基本政策(大項目)	3	心豊かで多彩な人材を育む鳴門づくり		事業期間	開始 平成 19 年度	▼
政策(中項目)	2	自己実現都市なると				
(小項目)		文化振興(②文化財)				
施策	05	文化財の保護と活用				
基本事業	1	文化財の保護と活用	終期 未定 ▼			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 国指定史跡として活用可能な板東俘虜収容所跡														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	収容所跡地を国指定史跡化することによって跡地の再整備を行い、歴史遺産として保存活用する。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国指定史跡化</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	単位	国指定史跡化	○	○	○	○	○	
指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	単位										
国指定史跡化	○	○	○	○	○											

◎実施結果(DO)

事業実施内容	23年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	遺構確認のための発掘調査を実施したほか、これまでに行った調査成果をもとに総括調査報告書の作成・刊行を行った。これにより、史跡指定申請のための添付資料の一つが調った。					
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		22年度実績	23年度実績	24年度目標	25年度目標	26年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	発掘調査および指定申請書類の作成	1	1	-	-	件
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	国指定史跡化		○	○	-	-	-
	目標達成率(実績/目標)			-	-	-	%

コスト分析		22年度実績	23年度実績	24年度	25年度	26年度	単位
事業費	(財源内訳の合計)		2,030	2,081	0	-	-
	財源内訳	国	1,014	1,040	0		
		県	507	520	0		
		地方債	0	0	0		
		その他	0	0	0		
		一般財源	509	521	0		
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		1,955	3,910	1,303	3,259	1,955	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.3	0.6	0.2	0.5	0.3	人
	臨時職員等(2,012千円/人)						
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		3,985	5,991	1,303	-	-	千円

【事務事業名：板東俘虜収容所整備活用事業】

◎平成24年の実施状況(DO)

現在の実施状況	国指定史跡の範囲を確定するため、土地境界復元作業の実施にむけた基礎調査を行っている。
---------	--

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価		理由等所見欄
	8 /10	<input checked="" type="checkbox"/> ① 廃止した場合に支障が出る。	国・県との連携により早期の指定を目指すことが可能。また調査結果から重要な史跡として評価できることから、市民の文化的生活の向上に資する地域資源である。
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 施策 文化財の保護と活用 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価		理由等所見欄
	8 /10	<input checked="" type="checkbox"/> ① 市民生活上の課題解決に貢献している。	国指定史跡として地域の歴史遺産を保護することによって、観光振興及び地域活動の拠点となる整備を進め、周辺の文化的地域資源との総合活用を図ることができる。
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
<input checked="" type="checkbox"/> ③ 事業目標が達成できるような事業内容になっている。			
<input checked="" type="checkbox"/> ④ 事業対象は適切である。			
<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。			
3.効率性の評価		理由等所見欄	
8 /10	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業実施手法は適切である。	国指定史跡化と資源維持のための整備・保全是市が主体となり、指定後の活用事業は積極的に地域との協働を進める。	
	<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 効率性向上の余地はない。		

◎今後の方向性(ACTION)

課題等					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> ▼ ▼			
	どのように改革するのか				